

# 平成24年度 研究のまとめ

## 研究内容について

今年度は、22年度・23年度作成してきた指導計画について、高津小学校の児童の実態に合っているか、楽しみながら動きを身に付けられているか、などの視点をもって指導計画の検証をしてきた。

○全学年・全単元のふり返しカードの作成

- ・学習の道すじの基本構想から、各単元の特徴に合わせた学習の道すじの検証
- ・場や用具などについての検証
- ・規則やルールなどについての検証

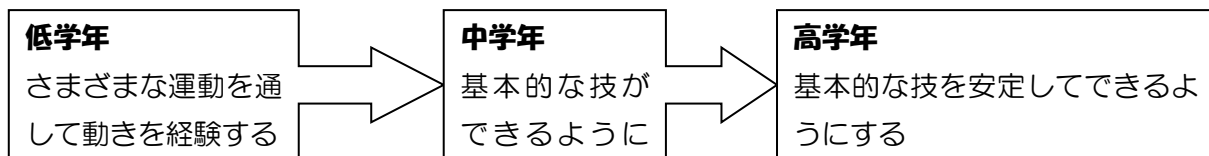
○低・中・高・あおば部会での授業提案

- ・あおば級 体づくり運動 「多様な動きをつくる運動あそび」
- ・低学年 ゲーム 「ナイスキックベースボール」
- ・中学年 ゲーム 「ハンドベースボール」
- ・高学年 ボール運動 「Wゾーンサッカー」

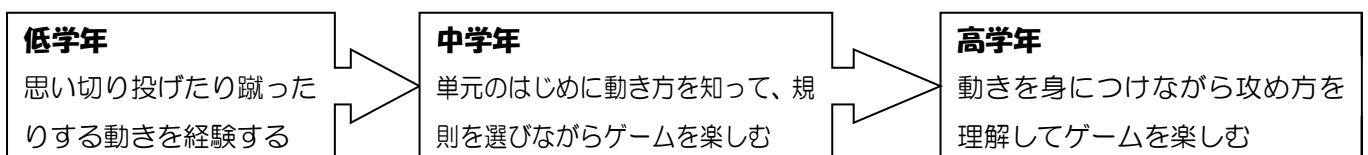
○研究推進委員会でのマット運動、ボール運動での動きの系統性の確認

- ・6年間の動きの系統性について

### マットを使った運動遊び → マット運動



### ゲーム → ボール運動



## 研究の成果について

①学習の道すじの基本構想をもとに授業計画を立てて実践を行った。その中で、「みんなに指導すること」を明確にしたことで、効果的な指導を行うことができた。

### 低学年・あおば級

単元のはじめに、教師の真似をしたり友達と一緒に活動したりしたことで、楽しみながら動きを身に付けることができた。

### 中学年

単元のはじめに動きのこつを知り、規則や動きを工夫して取り組むことで、楽しみながら動きを身につけることができた。さらに、友達とかかわりを深められるような、肯定的な言葉かけをしたことで楽しみながらできるようになり、意欲の喚起にもつながった。

## 高学年

単元のはじめに動きのポイントを伝えたことで、子どもたち同士で見合いながらできるようになる姿が多く見られた。発達段階に応じて、自分の力に合った学習のめあてをもって学習に臨み、主体的な学習を進めることができるようになってきた。

- ②発達段階に応じて、自分の力に合った学習のめあてをもって学習に臨み、主体的な学習を進めることができるようになってきた。
- ③器械運動・ボール運動の領域では、各学年で身に付けたい力を明確にして、その系統性について整理することができた。